

平成29年度シラバス

学番40

新潟県立栃尾高等学校

教科名	数学	科目名	数学I	単位数	5
科目の性質	必履修		学 年	1 学年	
使用教科書	「最新数学 I」(数研出版)		副教材等	「パラレルノート数学 I」(数研出版)	

1 学習目標

- ・基礎計算力(中学卒業程度)の徹底を図る。
- ・高校数学の基礎的な知識と技術の習得を図る。

2 指導の重点

- ・家庭学習の習慣を身につけさせるため小テストを行う。また1学年全員が数学 I の基礎計算ができることを目指す。
- ・進学、就職等希望進路が多岐に渡っているため、習熟度別クラス展開で個々の希望、能力にあわせた高校数学基礎の習得を目指す。

3 学習計画

月	学習活動(指導内容)	学習のねらい	時間	評価方法
4 5 6 7 8	中学校の内容の確認 第1章 数と式 第1節 数と式 第2節 1次不等式 第3節 集合と命題 課題学習	基礎学力の確認。 数式の扱いに慣れ、数の性質についての理解を深める。 事象を数学的に考察し処理する。 論理的な思考力を伸ばす。 設定したテーマを主体的に学習し、発表する。	5 5	第1回 定期考査 第2回 定期考査
9 10 11 12	第2章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と 2不等式 課題学習	2次関数について理解し、関数を用いて数量の変化を表現できる。 設定したテーマを主体的に学習し、発表する。	6 0	第3回 定期考査 第4回 定期考査
12 1 2	第3章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 正弦定理・余弦定理 課題学習	直角三角形における三角比の意味を理解する。 角の大きさなどを用いた計量の考えの有用性を認識する。 設定したテーマを主体的に学習し、発表する。	4 0	第5回 定期考査
2 3	第4章 データの分析 数学 I 基礎の復習 課題学習	データを度数分布表に整理し、ヒストグラムで表す。 データの分布と箱ひげ図の関係について理解する。 基礎的な問題について復習する。 設定したテーマを主体的に学習し、発表する。	2 0	

4 課題・提出物等

基礎計算力向上対策	・・・入学前課題、夏休み課題、冬休み課題
高校数学基礎習得対策	・・・① 長期休暇中 夏休み補習 ② 平常 放課後補習、ワークプリント、小テスト

5 評価規準と評価方法

評価は次の4つの観点から行います。			
①関心・意欲・態度	②数学的な見方や考え方	③数学的な技能	④知識・理解
数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基いて判断しようとする。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。
①定期考査 約70%程度 ②平常点 授業の取り組み（授業態度・提出物・小テスト） 30%程度 以上の観点を踏まえ、総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

習熟度別クラス編成で個々の理解度を見ながら指導していきます。 基礎計算を苦手とする生徒から大学進学を目標とする生徒まで幅広くサポートしていきます。
--